

平成17年9月定例会会議録（第3号）

平成17年9月7日 水曜日 午前10時00分開議

大 沼 久 議 長 蒲 生 光 男 副議長

出 席 議 員 （21名）

| | | | | | | | |
|------|-------|-----|----|------|-----|-----|----|
| 1 番 | 我 妻 | 昇 | 議員 | 2 番 | 内 谷 | 重 治 | 議員 |
| 3 番 | 大 道 寺 | 信 | 議員 | 4 番 | 谷 口 | 栄 子 | 議員 |
| 5 番 | 佐々木 | 謙 二 | 議員 | 6 番 | 安 部 | 隆 | 議員 |
| 7 番 | 町 田 | 義 昭 | 議員 | 8 番 | 鳥 谷 | 政 一 | 議員 |
| 9 番 | 蒲 生 | 光 男 | 議員 | 10 番 | 渋 谷 | 佐 輔 | 議員 |
| 11 番 | 高 橋 | 孝 夫 | 議員 | 12 番 | 鈴 木 | 武 次 | 議員 |
| 13 番 | 小 関 | 勝 助 | 議員 | 14 番 | 鈴 木 | 良 雄 | 議員 |
| 15 番 | 鈴 木 | 小 市 | 議員 | 16 番 | 藤 原 | 民 夫 | 議員 |
| 17 番 | 蒲 生 | 吉 夫 | 議員 | 18 番 | 佐々木 | 榮 七 | 議員 |
| 19 番 | 島 田 | 友 市 | 議員 | 20 番 | 鈴 木 | 新 助 | 議員 |
| 21 番 | 大 沼 | 久 | 議員 | | | | |

欠 席 議 員 （0名）

説明のため出席した者

| | | | |
|-----------|-------------------|-----------|----------------------|
| 目 黒 栄 樹 市 | 長 | 長谷部 宇 一 | 助 役 |
| 佐 藤 義 夫 | 収 入 役 | 平 進 介 | 総務課長兼選挙管 理委員会事務局長 |
| 松 本 弘 | 財 政 課 長 | 松 木 幸 嗣 | 企 画 調 整 課 長 |
| 中 井 晃 | 税 務 課 長 | 小 泉 良 一 | 市 民 課 長 |
| 船 山 祐 子 | 健 康 課 長 | 宇 津 木 正 紀 | 福 祉 事 務 所 長 |
| 高 橋 信 夫 | 会 計 課 長 | 金 田 寿 一 | 消 防 主 幹 |
| 飯 田 武 志 | 監 査 委 員 | 田 中 勝 男 | 教 育 委 員 長 |
| 大 滝 昌 利 | 教 育 長 | 安 部 嘉 徳 | 選 挙 管 理 委 員 会 長 |
| 小 関 秀 一 | 農 業 委 員 会 会 長 | 梅 津 和 士 | 農 林 課 長 |
| 那 須 宗 一 | 商 工 観 光 課 長 | 浅 野 敏 明 | 建 設 課 長 |
| 平 英 一 | 管 理 課 長 | 梅 津 敏 昭 | 文 化 生 涯 学 習 課 長 |
| 遠 藤 正 明 | 農 業 委 員 会 事 務 局 長 | 鈴 木 要 一 郎 | 水 道 事 業 所 長 |

堀 邦 夫 学 校 給 食 共 同 調 理 場 長 沼 澤 厚 子 監 査 委 員 事 務 局 長

事 務 局 職 員 出 席 者

佐 藤 仁 議 会 事 務 局 長 児 玉 行 宏 補 佐
五十嵐 恵美子 主 任 塚 田 知 広 主 事

議 事 日 程 (第 3 号)

平成17年9月7日 水曜日 午前10時00分開議

日程第 1 市政一般に関する質問

- 1 番 我 妻 昇 議 員
- 1 0 番 渋 谷 佐 輔 議 員
- 2 番 内 谷 重 治 議 員

本 日 の 会 議 に 付 し た 事 件

議事日程 (第3号) に同じ

開 議

○大沼 久議長 おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員はございません。よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

本日の会議は、配付しております議事日程第3号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○大沼 久議長 日程第1、市政一般に関する質問を昨日に引き続き行います。

我妻 昇議員の質問

○大沼 久議長 それでは、順次ご指名をいたします。

初めに、順位6番、議席番号1番、我妻昇議員。

(1番我妻昇議員登壇)

○1番 我妻 昇議員 おはようございます。

9月だというのに連日の真夏日が続いたり、一転してきのうのように肌寒い日になったり、きょうのような嵐の前の静けさといいましょうか、生暖かいような気候になったり、日に日に目まぐるしく変わるこの天気は、現在真ただ中の衆議院選挙を物語っているかのようにさえ思います。

先日、地元の公民館で防災講座というものが開催されましたので出席してまいりました。地

震にしろ火事にしろ、このような台風にしろ、いつ来るかわからないという気持ちが大切で、その備えをしてくださいとのお話でございました。特に地震の備えが一番なっていないんだというようなご指摘を受けました。地震発生時のけがや死亡の原因の4割は、家具の下敷きになってしまうということだそうです。少なくとも家具の転倒防止だけでもいいからしてくださいというのがその方の強い願いでもありました。各地で防災協議会が発足されているようですが、こうした啓蒙活動が多くの人を守ることになるのだと改めて考えさせられたところでもございました。

それでは、通告しております3件について質問を順次させていただきますので、ご答弁の方よろしくお願いいたします。

最初の質問をさせていただきます。市長、助役、収入役、教育長に答弁をお願いしたいと思います。

私は、2年と5カ月前に議員にならせていただき、今日までの間にたびたび一般質問でこの壇上に立たせてもらいましたし、また総括質疑もさせていただきます。自分の勉強不足から質問になっていないときもあって、恥ずかしい思いをしたこともありましたし、的確で非の打ちどころがない答弁にたじたじになり頭が真っ白になったこともありました。質問をするたびに、市長初め当局の皆様の誠意ある答弁、前向きな答弁をちょうだいすることができ、ここで改めて感謝を申し上げるところでもあります。

しかしながら、どうしても納得できないところがあります。それは、「検討します」「調査します」「取り組みます」「考えます」というような答弁をいただいた場合に、その後、実際に検討や調査をしたのかどうか、検討したがだめだったのか、それともよかったのか、ことし中に取り組むのか来年取り組むのか、そういったことがほとんどわからないというところでありま